

主要ゲスト紹介

ルイ・アルベール・ド・ブロイ

Prince Louis Albert de Broglie

デロール オーナー兼社長

未来の為のデロール (DPA)・創設者、シャトー・ド・ラ・ブルデジエール 城主



フランス、パリ生まれ。持続可能な地域農業や生物多様性、気候変動に関連した食料問題などを含む社会的問題への取り組みについての強力な擁護者。シャトー・ド・ラ・ブルデジエールにてナショナルトマト院を創設 (1992)、トマトに関する研究を、*Tomatoes Gardener Prince 650 varieties and their revenues* にて出版 (2012)。昆虫学と剥製術で歴史的に重要なデロール/未来の為のデロール (DPA)社のオーナーとなる(2000)、2010年、Deyrolle はフランス政府

によって職人の技術が最高であると評価された企業のみを送られる”Entreprise du Patrimoine vivant (Living Heritage Company)”を受賞。(フランス全土で約800社しか授与されていない賞)火災にあった DPA 博物館ショップを再建 (2008)、フランス政府より Entreprise du Patrimoine Vivant/無形文化財企業 (EPV)ラベルを受賞 (2010)。ユネスコやフランスの教育及びエコロジー関連の省庁に対して、持続可能性と社会問題に付いての意識向上の為の絵入り教育カードの教材開発 (2013)、世界海洋デーにパリのユネスコ本部で学生達に展示見学を提供 (2014)等の教育事業に取り組む。

ハン・チュンリー

Dr. Qunli Han

ユネスコ生態・地球科学部長 兼 ユネスコ人間と生物圏 (MAB) 計画事務局長



北京市生まれ。中国科学技術大学をコンピュータ科学専攻で1980年に卒業。1980年から1988年まで中国科学院研究員。1989年よりユネスコ・パリ本部勤務、翌年1990年から1997年までユネスコ本部内にある生態科学部・人間と生物圏 (MAB) 計画事務局のプログラム・スタッフを務める。1998年から2007年までユネスコ・ジャカルタ副所長、アジア・太平洋地域科学局の環境科学上級プログラム専門員として、アジア・太平洋地域の人間と生物圏 (MAB) 計画と MAB

の地域ネットワーク、そして世界自然遺産のユネスコ業務に従事。2007年から2011年までアフガニスタン、イラン、パキスタン、トルクメニスタンを管轄するユネスコ・テヘラン事務所所長。2011年から2013年までユネスコ自然科学局総務部長、2013年よりユネスコ生態・地球科学部長兼人間と生物圏 (MAB) 計画事務局長。

ハヤット・シンディ博士

Dr. Hayat Sindi

サウジアラビア諮問評議会メンバー・国連科学諮問委員会委員、Diagnostics For All 共同創設者兼所長、Institute for Imagination and Ingenuity (i2institute)創設者兼会長



サウジアラビア、メッカ生まれ。英国のキングス・カレッジ・ロンドンを薬理学専攻で卒業（1995）、英ケンブリッジ大学バイオテクノロジー専攻で博士号取得（2001）。米ハーバード大学客員教授在任中（2006-2011）、自身が共同創設者で、現在の所長でもある

Diagnostics For All（2007 創設）や、創設者兼会長の Institute for Imagination and Ingenuity (i2institute)を立ち上げる。サウジアラビア Khalid Al-Faisal 王子より ‘Mekkah Al Mukaram’ 科学技術革新賞を受賞（2010）、ナショナル ジオグラフィックのエマージング探検家

（2011）、ニューズウィーク紙の「世界を動かした女性150人」（2012）などに選出。又、科学教育におけるユネスコ親善大使（2012）、国連科学諮問委員会およびサウジアラビアの諮問評議会のメンバー（2013）も務める。

マーティン・パーマー

Martin Palmer

世界宗教者環境保全連盟(ARC)事務総長

宗教・教育・文化・国際コンサルタント機関 (ICOREC) 所長

WWF (世界自然保護基金) インターナショナル宗教顧問、ローマクラブ宗教顧問



英国、ブリストル生まれ。神学者、執筆者、司会者・コメンテーター、環境保護専門家、中国古典翻訳者として30年以上の経験を持つ。英ケンブリッジ大学を神学と宗教学専攻で卒業。WWFの要望でイタリア、アッシジで初の主要な宗教と環境保護運動による共同会合を組織後、WWFの宗教顧問となる（1986）。英王室のエディンバラ公フィリップ王配殿下により、世界の主要な宗教が、それぞれの教義、信仰、実践に基づき、環境問題に取り組む独自のプログラム策定

を支援する目的で設立された世界宗教者環境保全連盟(ARC)事務局長に就任（1995）。ARC-国連開発計画による宗教、気候変動と環境の為の共同事業の共同議長（2009）、ローマクラブ、ユネスコ、ワールド・モニュメント財団などの宗教顧問、WWF、国連開発計画、世界銀行、神社本庁を含む世界の様々な宗教団体と共同事業をする。

サイモン・ケイナー

Dr. Simon Kaner

イースト・アングリア大学日本学センター長、セインズベリー日本藝術研究所考古学・文化遺産センター長、大英博物館アジア部門日本課研究員



サイモン・ケイナー（ケンブリッジ大学修士、2004年ケンブリッジ大学博士号を取得）はセインズベリー日本藝術研究所の考古学・文化遺産センター長を務めると同時に、イースト・アングリア大学日本学センター長にも就任している。専攻は日本の先史時代考古学。2005年よりロンドン古物協会のフェローであり、東アジア・ヨーロッパ考古学の様々な局面について教鞭をとり、著書も多数ある。日本、英国をはじめ世界中で考古学調査を行う一方、英国の考古遺産の管理業務に携わった行政経験がある。宗像・沖ノ島と関連遺産群のユネスコ世界遺産登録推進会議国際専門委員であるケイナー博士は、九州での会議にも定期的に出席、また、宗像・沖ノ島と関連遺産群研究報告書のために世界考古学観点から見る沖ノ島についての論文を執筆している。

アブドゥル ハミド ザクリ

Dr Abdul Hamid Zakri

マレーシア首相科学顧問、国連科学諮問委員会委員、生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム（IPBES）議長



マレーシア、パハン州生まれ。1976年、ミシガン州立大学より作物・育種専攻の博士号を授与。「ミレニアム生態系評価」の共同議長（2001-2005年）、国連大学高等研究所ディレクター（2001-2008年）を歴任後、2010年にマレーシア首相科学顧問と成る。2013年、生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム（IPBES）の初代議長に就任、又、パン・ギムン国連事務総長により、国連科学諮問委員会メンバーに任命される。フルブライト・ヘイズ・プログラム（1981年）、ロータリー研究財団ゴールドメダル（1999年）、ランカウイ賞（1998年）などを受賞。

デイビッド・アンデルマン

David Andelman

World Policy Journal 編集長



米国ハーバード大学、コロンビア大学ジャーナリズム大学院卒業。世界情勢を幅広く扱う雑誌 World Policy Journal の編集長を務め、USA トゥデイ紙の寄稿者委員会のメンバーでもある。過去には、世界有数の経済誌フォーブスの編集長や、ワシントン、ニューヨークでニューヨークタイムズの取材記者として活躍。

同紙の東南アジア支局長、東欧支局長を経験後、CBS ニュースのパリ特派員を務めた。近著に「A Shattered Peace: Versailles 1919 and the Price We Pay Today」がある。2010年には国際的なジャーナリスト協会である Overseas Press Club of America(OPCA)の代表に選出された。

節子・クロソフスカ・ド・ローラ

画家、ユネスコ平和芸術家

バルテュス財団名誉会長



1942年東京生まれ。62年上智大学フランス語科在学中に画家バルテュスと出会う。67年結婚。ローマのフランスアカデミー館長職にあったバルテュスとメヂチ館で77年まで暮らす。70年代より自らも画家として活動を始める。夫の館長職退任に伴いスイス・ロシニエールのグラン・シャレに移住現在に至る。2001年バルテュス没。02年バルテュス財団発足とともに名誉会長に就任。ユネスコ平和のアーティストとして世界各地の青少年活動に尽力している。13年パリの

セラミック工房アスティエ・ド・ヴィラット社とコラボレーションによる制作開始。随筆家としても活躍し著書に「見る美 聞く美 思う美」「和と寄り添う暮らし」「グラン・シャレ夢の刻」など多数。

小坂 文乃

日比谷松本楼取締役副社長



東京都生まれ。孫文の革命を生涯支え続けた長崎出身の実業家、梅屋庄吉の曾孫。中学・高校時代、英国在留。立教大学社会学部観光学科卒業、ウォーターフォード・ウェッジウッド・ジャパン株式会社、マーケティング部所属。1903年創業の日比谷松本楼入社（1995）、同社代表取締役副社長（現職）。梅屋庄吉曾孫として日中交流事業に従事、胡錦濤国家主席が松本楼を福田康夫首相と訪問（2008）、上海万博と北京で「孫文と梅屋庄吉」展開催（2010）、中国武漢市辛亥革命博物館、中山艦博物館で辛亥革命100周年記念「孫文・梅屋庄吉と長崎」展開催（2011-2012）。中国宋慶齡基金会理事、長崎県県民特別賞受賞、長崎県壱岐市観光大使、上海白玉蘭賞受賞（上海市名誉市民）。大阪観光大学客員研究員。著書に「革命をプロデュースした日本人」、「梅屋庄吉の生涯」がある。2014年、長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムを開館、顧問に就任。

お問い合わせ

報道・メディア窓口

(〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-5-19 サンライフ第3ビル 6階)

TEL: 080-2659-1625(松浦) / 092-481-7281(岡根)

FAX: 092-481-7732

E-mail: fukuoka-office@ubraintv-jp.com

本部事務局

TEL: 052-561-0002(平日 09:30~18:30)

FAX: 052-561-0122

E-mail: info@munakata-eco100.com